



竹松ものがたり

やさしく かしこく たくましく

令和5年11月27日
大村市立竹松小学校
発行 石司 貴弘

秋の学び[®] ~竹松っ子の体験学習紹介~ 6年生 修学旅行

- ☆吉野ヶ里歴史公園（佐賀県吉野ヶ里町）
- ☆大刀洗平和祈念館（福岡県筑前町）
- ☆福岡県青少年科学館（福岡県久留米市）
- ☆グリーンランド（熊本県荒尾市）

1泊2日の旅程で上記の施設等を訪問し、学びを深めることができました。今の時代、「知りたい」という興味関心を抱くと、学びの方法はいろいろあります。インターネット上にはたくさんの資料があふれています。しかし、実際に現地に行き、見たり、体験者等に直接話を聞いたり、実物に触ったりして、体験する、学習の意味はとて大きいと確信します。各見学地で、教室とは一味違った学びに没頭する子供たちの姿を見ることができました

吉野ヶ里公園は広くて歩き回るのが大変でした。竪穴式住居の中にある人形（模型）がリアルで、当時の人の生活の様子がよくわかりました。墳丘墓では、実際の墓の様子が展示されていて、とても驚きました。

青少年科学館では、理科で勉強したてこの原理などを体で確かめることができました。印象的だったのは、放電実験です。空気中を電気が流れる時には、ものすごい音がして衝撃でした。もっとゆっくり見てみたいです。

平和祈念館では、特攻の隊員として亡くなった方の手紙が展示されていました。今の自分たちの少し上の人（十代後半の人）もいて、驚きました。戦争の無意味さや人の命がどれだけ大切かを考えました。

バスの中やホテルの部屋で友達とたくさん話をして今まで以上に仲良くなりました。畳敷きの風呂は初めてだったのでびっくりしました。ガイドさんやホテルの人にもお世話になり、楽しい旅行になりました。

2日間の旅行を通して、多くの学びを得ることができたと感じています。6年生の保護者の皆様の物心両面の御支援に感謝を申し上げます。



秋の学び ~竹松っ子の体験学習紹介~

2年生 もっとなみよし まちたんけん

【学習のわらい】

- 私たちが住む地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考える機会とする。
- 自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くことができるようにする。
- 生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。

地域(学校の近く)で働く方にゲストティーチャーとして来校していただきました。JAながさき県央の支店長さん、新大村駅の駅長さん、制服などの衣料を扱うお店の方、木材加工のお店の方、写真屋さん、そして竹松住民センターの所長さん。7人もの豪華な`地域の先生方、が2年生の教室でお話をしてくださいました。

先生方は、写真や実物などたくさんの資料を用いて子供たちに次のようなことを伝えてくださいました。

- 私たちはこんな仕事をしています。みなさんの暮らしの役に立てるように取り組んでいます。
- みなさんのお家の人と支えあって、住みよい大村になるとよいと思っています。

2年生の子供たちにとって生活の中心は`家庭と学校、です。身近な大人と言えば、家族や学校の教師です。今回の学習ではそれ以外の働く大人の話聞くことができました。多くの人たちが自分たちの生活に関わっていること、地域のみなさんのためにいろいろな仕事があることに気付くことができました。子どもたちの眼が`身近な地域、に向けて開かれる機会になったと確信しています。興味を抱いた子どもたちは、「もっと知りたい。もっと調べたい。」と意欲を膨らませています。

ご協力をいただいた皆様に心からのお礼を申し上げます。ありがとうございました。引き続きよろしく申し上げます。

